

40周年事業運営委員会 事業報告

委員長 高橋 昂己

本年度当委員会では、市民が自分たちの住むまちについて考え、この地域の特長を再確認する機会とし、特長とは何か、魅力とは何かを考えてもらうことで郷土理解を深め、結果すべての世代の人々に愛郷心の芽を育み、それをいつまでも持続させる事で、このまちに住み続けたいと思ってもらえるようになる事を目的に一年間邁進して参りました。

まずは、7月事業として40周年記念事業第1段「浦安市民が創る『かるたdeうらやす2020』」を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大予防の為、外出自粛を余儀なくされている状況下の中で、市民が集まらず尚且つ誰でも参加・視聴できるインターネット上で、浦安出身の写真家、大塚勉様ご協力のもと、自身が撮影した昔と今の浦安の写真をもとに、事業への参加意欲をかきたてるYouTube動画を配信致しました。また、浦安市民からは、かるた作成にともなう浦安らしい風景写真と、5・7・5の詠み句を募集しました。募集期間中は、沢山のメディアが記事等で御紹介していただき、市民への事業の認知も広がり、広報活動も精力的に行った結果、ホームページ専用フォーム、メール、FAX、インスタグラム、郵送など幅広い応募方法も功を奏し小学校からの応募を含め511件にもものぼりました。

そして、10月第一例会40周年記念事業第2段「『うらやすの・かるたができたよ・みにおいで』かるたdeうらやす2020作品展示会及び販売会」を新浦安駅前広場にて開催しました。作成した「かるたdeうらやす2020」が1人でも多くの市民の手に触れ、新たな浦安を遊びながら発見できるツールとして活躍し続けることで、愛郷心の醸成と持続が永遠とその影響を生み続ける事ができると思っております。

この事業は、自分が撮った写真や、考えた読み句が採用されれば、かるたという形として永遠と残っていくという夢が膨らむ内容であり、浦安市民であれば誰でも参加できることから市民一体型の事業に発展させる事ができました。

さらに、完成したかるたは公共施設や老人施設に寄贈をさせていただき、多くの方から喜びと感謝のお言葉を頂戴しましたが、その中でも印象に残っているのが小学校の先生からであり、「コロナ禍で、探検にいけない中、浦安を楽しく学べるこのかるたが救世主になりそう」との大変嬉しいお言葉を頂戴する事が出来ました。

最後に、当委員会のご参加・ご協力頂いた、関係者・関係会社・関係施設の皆様、OB・OGの皆様、浦安青年会議所のメンバーに心から感謝の意を表し、40周年事業運営委員会の事業報告とさせていただきます。

本当に1年間有難うございました。